



君の未来がここにある!

弘前大学医学部附属病院
卒後臨床研修プログラム

弘前大学医学部附属病院総合臨床研修センター

2024



CONTENTS

- 1 弘前大学医学部附属病院
卒後臨床研修プログラムへのご招待
- 2 卒後臨床研修制度の基本
- 3 ここが特徴!! 弘大研修 -HIRODAI-
- 4 本学プログラムの特徴
- 5 メンター候補指導医一覧
- 7 Program A
- 9 Program B
- 11 Program C
- 13 Program D
- 15 Program E
- 17 Program F
- 19 研修医オリエンテーション
- 23 研修医セミナー
- 25 CPC (臨床病理検討会)
- 26 地域医療研修
- 27 ベスト研修医賞
- 29 研修医に贈る四大特典
- 31 研修環境について
- 36 日々前進する研修医たちの姿



卒後臨床研修プログラムへのご招待



総合臨床研修センター長
・消化器血液内科学講座教授

櫻庭 裕丈

弘前大学医学部附属病院では、卒後臨床研修が必修化された当初から、参加者体験型オリエンテーションを導入、さらに「研修医のためのプライマリ・ケアセミナー」の創設、新制度による研修医CPCの開始、研修医の医療行為に関する基準の制定、EPOCによる双方向性評価の導入、研修医宿舍の設置、「ベスト研修医賞」の創設、地域医療科目の充実、メンター制度の導入など、より充実した臨床研修を目指し整備を行ってきました。また、2020年度からの卒後研修制度の大幅な改正に対し、大学のプログラムも整備されました。

また2008年には新外来等が完成したことに伴い、素晴らしい研修医室も整備され、また学内に保育園も設置され多くの先生方が利用しています。2010年度には念願の高度救命救急センターが完成して救急研修も一層充実しています。さらに、2015年には女性医師の定着や職場復帰を支援するための女性医師支援施設が完成しました。本年度は、新病棟への移転が予定されておりさらなる進化が期待されます。

内科、小児科、皮膚科、精神科、外科を含む19のすべての基本領域のスペシャリストが集まる本学での研修は、未来の自分の姿が見えてくる研修になるでしょう。「君の未来がここにある！」これこそが本学における研修のかたちです。一緒に未来を探しましょう。

卒後臨床 研修制度 の基本

国の方針により、2020年度から卒後臨床研修制度が変更になり、現在の制度の基本骨格は以下のようになっています。

1 研修期間は **2年間**。

2 研修科目

- (1) 「必修科目」：内科 24週、救急 12週、外科、小児科、産婦人科、精神科
および地域医療は各4週が必修です。なお、一般外来での研修4週も必修です。
- (2) 原則として、内科と救急は1年次に、地域医療は2年次に研修することとされています。

3 「臨床研修の到達目標」に注目してください。

皆さんは、研修医が2年間で習得、経験すべき「臨床研修の到達目標」が、2004年の卒後臨床必修化当初より厚生労働省により定められていることをご存知でしょうか？これは全国どこの病院で研修しても、研修医が必ず到達しなければならない基準を定めたもので、研修終了時に厳しく達成度を評価されるものです。

2020年度からはこの「臨床研修の到達目標」及びその評価方法が大きく変更になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ「臨床研修の到達目標、方略及び評価」をご参照ください。本学総合臨床研修センターのホームページからも見ることができます。

弘前大学医学部附属病院 総合臨床研修センターホームページ

<https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/edpostgr/index.html>



弘前大学の施設・設備紹介



遠隔操作型内視鏡下手術システム



ICU



ハイブリッド手術システム



SCU

ここが特徴!!

弘大研修 -HIRODAI-



Humanity

人情と情緒にあふれる街 弘前の地で人間性を高める



Improving

常に改善を求め進化するプログラムと指導医
2003年度からスーパーローテートを導入
2008年度からメンター制度を新設など先手を打って改善に取り組む



Relationship

地域の病院・診療所とともに次世代に求められる医師を育成
大学病院と市中病院での研修の長所を併せ持つ



Orientation

研修開始前の体験型オリエンテーション



Deep and Wide

研修の深さと幅を両立
最先端医療と最前線医療の統合
基本的臨床能力と応用力の修得



Attractive Events

研修医のための各種セミナー、
ベスト研修医賞、研修医による CPC など



Introduction to subspecialty

充実した専門研修への円滑な移行

本学プログラムの特徴

メンター科から研修スタートが可能！

(プログラムA、B、D)

そもそもメンターとは…

**研修医が2年間の研修期間を通じて、
困ったときの相談役となる医師のことです。**

「メンター」という語は、もともとはギリシャ神話に登場する賢者「メントール」が語源です。オデュッセウス王の友人で助言者であり、王の息子テレマコスの師も務めたとされています。

転じて現在では「メンター」は、良き助言者、指導者、顧問という意味として、一般企業等で広く使われています。

本院プログラムにおけるメンター及び メンター科研修の位置づけ

研修医が研修を開始するにあたり、本院の以下の科の指導医の中から、自分の最も信頼する医師をメンターとして指名することができます。そして医師生活のスタートを切る当初の1ヶ月間をメンターの所属する科で、メンターによる直接の指導を受けることができます。メンター科終了後は各科をローテーションして研修を行いますが、その間もメンターは研修医の希望に応じて、研修終了まで相談役を務めます。

なお、**メンターを指名することは義務ではありません**。もしメンターを指名しない場合には、研修医と総合臨床研修センターが相談して、研修を開始する科を決定します。

メンターを指名できる科の一覧 (科名は略称による。5、6ページ参照)

一内、二内、呼内、三内、神内、腫内、放治、放診、小、精、麻、救急、総診、検、病理、一外、二外、小外、産婦、整、泌、脳外、形、皮、耳、眼、リハのいずれか。

メンター科における習得事項について

メンター科での研修期間中に研修医が習得すべき内容は、以下のような、医師としての基礎となるもので、その後の研修生活を円滑に行うための基盤を作ることにより可能な限り力点を置くものとします。

- (1) 患者さんとのコミュニケーションのとり方
 - (2) 医療面接の仕方
 - (3) 身体診察法
 - (4) カルテ記載法
 - (5) 処方箋、注射箋の書き方
 - (6) 病棟における指示の出し方
 - (7) 採血、点滴等の病棟における日常的措置
 - (8) 上記事項における安心と安全面への配慮 など
- (メンターが外科系指導医である場合には、これらに加えて、手術に関する初歩的的日常業務を含む)

私たちと一緒に頑張りましょう！

以下に示す指導医以外にも、研修医が各科の指導医をメンターとして指名することは可能です。

各科の代表的メンター候補指導医の方々 (2023年4月現在)

内 科 系				
診療科名 (略称)	氏 名	卒業年次	卒業大学	専門分野
消化器内科・血液内科・ 膠原病内科 (一内)	立 田 哲 也	2007	弘前大学	消化器内科
	蓮 井 桂 介	2007	弘前大学	消化器内科/膠原病内科
	立 田 卓 登	2014	弘前大学	血液内科
循環器内科・腎臓内科 (二内)	藤 田 雄	2001	弘前大学	腎 臓 内 科
	石 田 祐 司	2007	弘前大学	循 環 器 内 科
	市 川 博 章	2011	弘前大学	循 環 器 内 科
呼吸器内科・感染症科 (呼内)	當 麻 景 章	2000	産業医科大学	呼 吸 器 内 科
	田 中 寿 志	2006	岩手医科大学	呼吸器内科(腫瘍)
	牧 口 友 紀	2007	弘前大学	呼 吸 器 内 科
内分泌内科・糖尿病代謝内科 (三内)	佐 藤 江 里	2002	弘前大学	内 分 泌 ・ 代 謝 内 科
	村 澤 真 吾	2003	弘前大学	内 分 泌 ・ 代 謝 内 科
	水 尻 諭	2007	弘前大学	内 分 泌 ・ 代 謝 内 科
脳神経内科 (神内)	村 上 千 恵 子	1994	弘前大学	脳 神 経 内 科
	西 蔦 春 生	2001	東京大学	脳 神 経 内 科
腫瘍内科 (腫内)	佐 藤 温	1988	琉球大学	腫 瘍 内 科
神経科精神科 (精)	富 田 哲	2009	弘前大学	精 神 医 学
小児科 (小)	山 本 達 也	2001	弘前大学	小 児 神 経
	北 川 陽 介	2002	弘前大学	小 児 循 環 器
放射線治療科 (放治)	畑 山 佳 臣	2001	弘前大学	放 射 線 治 療
	川 口 英 夫	2002	弘前大学	放 射 線 治 療
放射線診断科 (放診)	対 馬 史 泰	2001	弘前大学	放 射 線 診 断
	掛 端 伸 也	2004	弘前大学	放 射 線 診 断
麻酔科・集中治療科 (麻)	中 井 希 紫 子	2004	弘前大学	麻 酔 科
病理診断科 (病理)	黒 瀬 顕	1988	香川医科大学	病 理
	加 藤 哲 子	1999	山形大学	病 理
救急科/高度救命救急センター (救急)	奈良岡 征 都	2005	弘前大学	救急医学・中枢神経疾患
臨床検査/検査部 (検)	齋 藤 紀 先	1997	秋田大学	感染症内科/心療内科
総合診療部 (総診)	米 田 博 輝	2000	自治医科大学	家 庭 医 療
	穂 元 崇	2005	自治医科大学	総 合 診 療
	小 林 只	2008	島根大学	総 合 診 療

最初が「肝心」です

最終的には研修医の希望、各メンター候補指導医および各科の意向を踏まえ合議によりメンターを決定します。

外科系

診療科名（略称）	氏名	卒業年次	卒業大学	専門分野
呼吸器外科・心臓血管外科 （一外）	木村大輔	1998	旭川医科大学	呼吸器外科
	川村知紀	2004	弘前大学	心臓血管外科
消化器外科・乳腺外科・ 甲状腺外科（二外）	一戸大地	2009	弘前大学	消化器外科
	吉田枝里	2009	弘前大学	消化器外科
	鍵谷卓司	2011	弘前大学	消化器外科
整形外科（整）	和田簡一郎	1997	弘前大学	脊椎・脊髄外科
	木村由佳	2005	弘前大学	スポーツ整形外科
	大石和生	2010	弘前大学	関節外科
皮膚科（皮）	赤坂英二郎	2003	弘前大学	皮膚科
	六戸大樹	2003	弘前大学	皮膚科
	相楽千尋	2006	弘前大学	皮膚科
泌尿器科（泌）	米山高弘	1995	弘前大学	泌尿器科学
	畠山真吾	2000	秋田大学	泌尿器科学
	山本勇人	2003	弘前大学	泌尿器科学
眼科（眼）	工藤孝志	2005	弘前大学	眼科
	山内宏大	2011	弘前大学	眼科
	前田奈津姫	2011	弘前大学	眼科
耳鼻咽喉科頭頸部外科（耳）	高畑淳子	1998	弘前大学	耳鼻咽喉科
	工藤直美	2010	弘前大学	耳鼻咽喉科
産科婦人科（産婦）	横田恵	2005	弘前大学	生殖・内分泌
	伊東麻美	2006	弘前大学	周産期
	松村由紀子	2008	弘前大学	婦人科腫瘍
脳神経外科（脳外）	浅野研一郎	1994	弘前大学	脳腫瘍学
	森田隆弘	2006	弘前大学	血管内障害・血管内治療
	角田聖英	2011	弘前大学	血管内障害・血管内治療
形成外科（形）	三上誠	2002	弘前大学	形成外科
	齋藤百合子	2007	弘前大学	形成外科
小児外科（小外）	小林完	2008	弘前大学	小児外科
リハビリテーション科（リハ）	藤田彩香	2002	弘前大学	摂食・嚥下・呼吸器・脳 卒中リハビリテーション

Program



2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：11名

厚生労働省及び県の定めにより、今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

メンター科 4週	内科1 8週	内科2 8週	内科3 8週	救急 12週	精神科 4週	産婦人科 4週	小児科 4週
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------

2年次 本学附属病院

地域医療 4週	外科 4週	選択科 44週
------------	----------	------------

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。

コースの内容

メンター科

詳しくは4ページを参照。

内科 1 内科 2 内科 3

一内、二内・呼内、三内、神内、腫内のうち3つを選択。
ただし一内、二内・呼内、三内のうち2つ以上を選択すること。

救急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

地域医療 一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。
一般外来研修は、原則として地域医療研修中に行う。

外科

一外、二外(小外を含む)のいずれかを選択する。

2年次 [選択科]

院内のあらゆる科から最短4週間を単位として選ぶことができる。44週間すべてを、同一科を選んでもよい。また**8週間を限度として、健生病院、国立病院機構弘前総合医療センター、鷹揚郷腎研究所弘前病院、弘前記念病院、弘前脳卒中センターおよび上述の地域医療の研修協力施設で研修を行うことができる。**

Program B

1年次 — 大学病院で研修
2年次 — 学外の研修協力病院で研修
(地域医療研修期間を除く)

定員：12名 厚生労働省及び県の定めにより、今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

メンター科 4週	内科1 8週	内科2 8週	内科3 8週	救急 12週	精神科 4週	産婦人科 4週	小児科 4週
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------

2年次 研修協力病院

地域医療 4週	外科 4週	選択科 44週
------------	----------	------------

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。

研修協力病院一覧

青森県立中央病院

市立函館病院

八戸市立市民病院

青森市民病院

大館市立総合病院

国立病院機構弘前総合医療センター

つがる総合病院

黒石病院

青森労災病院

十和田市立中央病院

三沢市立三沢病院

むつ総合病院

コースの内容

メンター科

詳しくは4ページを参照。

内科 1

内科 2

内科 3

一内、二内・呼内、三内、神内、腫内のうち3つを選択。

ただし一内、二内・呼内、三内のうち2つ以上を選択すること。

救急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

精神科

産婦人科

小児科

外科

順序を入れ替えることは可能である。2年次研修協力病院に開設されていない科については、原則として1年次研修中に研修を終えるものとする。

地域医療

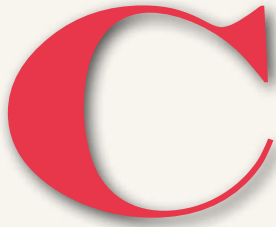
一般外来

研修協力病院の指定する研修協力施設の中から、本学のプログラムで指定する施設を選択して研修を行う。なお一般外来研修及び在宅医療の経験については必要に応じ、本学と研修協力病院が協議して決定する。

2年次

【選択科】

2年次【選択科】の決定にあたっては、各研修協力病院と各研修医の意向が合致することを原則とし、その調整は本学総合臨床研修センターが行う。



1年次 — 学外の研修協力病院で研修 2年次 — 大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：12名 厚生労働省及び県の定めにより、今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 研修協力病院

内科	救急	精神科	外科	産婦人科	小児科
24週	12週	4週	4週	4週	4週

2年次 本学附属病院

地域医療	選択科
4週	48週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。

研修協力病院一覧

青森県立中央病院

八戸市立市民病院

市立函館病院

大館市立総合病院

三沢市立三沢病院

健生病院

青森労災病院

国立病院機構弘前総合医療センター

つがる総合病院

黒石病院

むつ総合病院

コースの内容

1年次 「救急」

内科や外科等の院内のいずれかの科に所属しながら、救急患者の診療に従事することにより、救急医療を修得する。

精神科 外科 産婦人科 小児科

当該研修協力病院に設置されていない科がある場合には、その期間選択科研修を行い、代わりに2年次選択科期間中に必修科研修を組み入れる。

地域医療 一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。

一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次 「選択科」

院内のあらゆる科から最短4週間を単位として選ぶことができる。48週間すべてを、同一科を選んでも良い。また**8週間を限度として、健生病院、国立病院機構弘前総合医療センター、鷹揚郷腎研究所弘前病院、弘前記念病院、弘前脳卒中センターおよび上述の地域医療の研修協力施設で研修を行うことができる。**



1年次+2年次 (前半26週) — 大学病院で研修
(地域医療研修期間を除く)

2年次選択期間 (後半26週)

— 学外の研修協力病院で研修

定員：6名 厚生労働省及び県の定めにより、今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

メンター科 4週	内科1 8週	内科2 8週	内科3 8週	救急 12週	精神科 4週	産婦人科 4週	小児科 4週
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------

2年次 本学附属病院 26週 + 研修協力病院 26週

地域医療 4週	外科 4週	選択科 18週	研修協力病院 選択科 26週
------------	----------	------------	----------------------

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。2年次前半の研修も同様である。

研修協力病院一覧

大館市立総合病院

三沢市立三沢病院

国立病院機構弘前総合医療センター

国立病院機構青森病院

つがる総合病院

健生病院

黒石病院

弘前記念病院

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

コースの内容

メンター科

詳しくは4ページを参照。

内科 1 内科 2 内科 3

一内、二内・呼内、三内、神内、腫内のうち3つを選択。
ただし一内、二内・呼内、三内のうち2つ以上を選択すること。

救急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

地域医療 一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。
一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

外科

一外、二外（小外含む）のいずれかを選択する。

2年次 〔選択科〕

院内のあらゆる科から最短4週間を単位として選ぶことができる。18週間すべてを、同一科を選んでもよい。

2年次 研修協力病院 〔選択科〕

2年次後半の26週間を、左記の研修協力病院の中から1施設を選んで履修する。研修を行う科については、研修医の意向と病院の意向が一致すれば、自由に選択することができる。

Program



小児科コース

将来小児科医になることを希望する者のためのコース
2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：2名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

小児科	内科1	内科2	内科3	救急	精神科	外科	産婦人科
4週	8週	8週	8週	12週	4週	4週	4週

2年次 本学附属病院

地域医療	選択科	小児科
4週	4週	44週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。ただし本コースの性質上、1年次研修は小児科から開始するものとする。

コースの内容

内科 1
内科 2
内科 3

一内、二内・呼内、三内、神内、腫内のうち3つを選択。
ただし一内、二内・呼内、三内のうち2つ以上を選択すること。

救急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

外科

一外、二外（小外含む）のいずれかを選択する。

地域医療
一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。
一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次
「選択科」

院内のあらゆる科から選ぶことができる。

Program



産婦人科コース

将来産婦人科医になることを希望する者のためのコース
2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：2名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

産婦人科	内科1	内科2	内科3	救急	精神科	外科	小児科
4週	8週	8週	8週	12週	4週	4週	4週

2年次 本学附属病院

地域医療	選択科	産婦人科
4週	4週	44週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。ただし本コースの性質上、1年次研修は産婦人科から開始するものとする。

コースの内容

内科 1
内科 2
内科 3

一内、二内・呼内、三内、神内、腫内のうち3つを選択。
ただし一内、二内・呼内、三内のうち2つ以上を選択すること。

救急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

外科

一外、二外（小外含む）のいずれかを選択する。

地域医療
一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。
一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次
「選択科」

院内のあらゆる科から選ぶことができる。

研修医オリエンテーション

さぁドクターとしていよいよ臨床の現場へ!

でもその前に体験型オリエンテーションで、しっかりウォーミングアップ
実践重視! 頭と体をウォーミングアップ

保険診療の
理解のために



医療訴訟



院内感染対策



臓器移植について



リスク
マネジメント



針刺等の
事故対策と
対応について



抜糸・縫合
実習



一次救命措置



気道管理



除細動



動脈血
採血



輸血前
検査実習



血管確保



大人気!

研修医セミナー

研修における重要なテーマについて各科のトップクラス指導医が、
研修医にフォーカスして毎回わかりやすくレクチャー



1時間の
実践的レクチャー



各科研修中でも、
指導医が研修医の出席を保証
(急変時・急患時を除く)



屋上ヘリポートに着陸するドクターヘリ

外来診療棟の上には融雪・照明装置付きのヘリポートがあり、青森県全域、ときには秋田県からも重症患者さんを受け入れています。防災ヘリの着陸も可能です。



最近のテーマ 一覧

令和3年度

- 5月 輸 血 部 「輸血医療に関して知っておいてほしいこと」
- 6月 放 射 線 診 断 科 「救急領域の画像診断」
- 7月 脳 神 経 内 科 「脳神経内科の救急疾患」
- 8月 眼 科 「眼科プライマリ・ケア 救急に来た眼科患者の対応どうする？」
- 9月 皮 膚 科 「プライマリ・ケアに必要な皮膚科診療の基礎知識」
- 10月 耳 鼻 咽 喉 科 「耳鼻科疾患の救急対応」
- 11月 形 成 外 科 「形成外科疾患のプライマリ・ケア ー顔面外傷ー」
- 12月 歯 科 口 腔 外 科 「顎口腔領域のプライマリ・ケア」
- 1月 脳 神 経 外 科 「研修医が知っておくべき脳外科疾患」
- 2月 整 形 外 科 「外傷患者の初期対応」
- 3月 泌 尿 器 科 「泌尿器の救急疾患」

令和4年度

- 5月 消 化 器 外 科 「縫合・抜糸」
- 6月 感 染 制 御 セ ン タ ー 「感染対策の重要性」
- 7月 小 児 科 「児童虐待が疑われる症例への対応」
- 9月 神 経 科 精 神 科 「高齢者虐待について」
- 11月 腫 瘍 内 科 「ゲノム医療」
- 11月 神 経 科 精 神 科 「研修医のための発達障害・不登校セミナー」
- 12月 総 合 診 療 部 「研修医のためのACP」
- 1月 麻 酔 科 「研修医のための緩和ケアセミナー」
- 2月 総 合 診 療 部 「基本に還る診察」

鍛えられる！ ハイレベル CPC

(臨床病理検討会)

臨床と病理 両方の指導医による
親身の指導で、
病態把握とプレゼンテーションの力が
飛躍的にアップ！

Example あなたは何を考える？

耳下腺膿瘍治療中に出現した肺の多発性空洞

頸部リンパ節腫脹、肝の多発性腫瘍を呈した症例

腹痛で受診したRA患者。腹部所見は上腹部の軽度の
圧痛のみ。入院後ショックに！

CPCで読影力も向上！
CPC前の画像相談も

OK!



放射線診断科の先生による
画像診断解説コーナーも

大人気!

CPCを通じてわかったこんな事、あんな事 (研修医の考察から)

消化管穿孔でfree airを認めないのはどんな時か。またfree airを検出するコツは？

化学療法中の真菌感染のriskは？ その対策は？

リンパ節腫脹の鑑別診断

腸閉塞の診断と治療

急性心筋梗塞で突然ショックになったとき、何を考える？

高齢者の夜間せん妄、忘れてはいけない原因は？

どんな時に病理医に特殊染色を依頼すればよいか？

解答は
HIRODAI
で...



「街なかの赤ヒゲドクター」から
「へき地医療のスペシャリスト」まで

——たくさんの出会いがあります！

行ってみて
初めてわかる

自分の目で
確かめて
みよう

地域医療のやりがいとおもしろさ！

地域医療研修協力病院・協力施設 一覧



六ヶ所村医療センター



大間病院

プログラムA、C、D、E、Fについて

沢田内科医院

ファミリークリニック希望

医療法人 芳真会 梅村病院

大町内科クリニック

南部町医療センター

板柳中央病院

医療法人 ときわ会 ときわ会病院

国民健康保険 五戸総合病院

医療法人 聖誠会 石澤内科胃腸科

下北医療センター国保大間病院

五日市内科医院

坂本アレルギー呼吸器科医院

六ヶ所村医療センター

東通地域医療センター

今村クリニック

プログラムBについて

通常2年次に研修を行う協力病院に登録されている研修協力施設で研修を行っています。施設は研修協力病院ごとに異なります。詳しくは総合臨床研修センターまでお問い合わせください。

目指せ! ベスト研修医賞

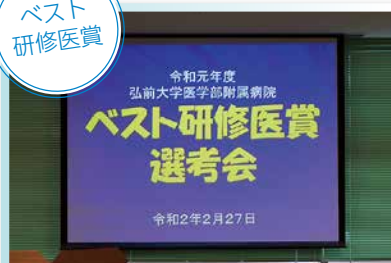


1年のおわりに待っている
フェスティバル!

年度末には「ベスト研修医賞選考会」
が行われます。

- ✓ あらかじめ総合臨床研修センター運営委員会でEPOC等により優秀研修医をノミネート
- ✓ 優秀研修医によるミニ講演会を開催
聴衆は、この1年病棟で苦楽を共にした臨床実習生(5年生)をはじめとする学生諸君。
講演テーマは、「ここがポイント! 研修医の心がけ」
「研修生活を振り返って 一気付いたこと・伝えたいこと」 など
- ✓ 学生による投票でベスト研修医1名を選出
- ✓ 他にも特別賞があります

ベスト
研修医賞



優秀研修医
による
ミニ講演会





ただいま
投票中



表彰



※新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、令和2～4年度は実施しておりません。

研修医に贈る四大特典!

1

心肺蘇生法講習会の受講料補助

■ BLS、ACLS、JATEC、PALSなど、各種講習会に参加した時は受講料の補助が出ます。

(過去実績：BLS + ACLS受講料 全額補助)

※教材代も補助が受けられる予定です。



PALS (小児二次救命処置法) 講習会

グローバル
スタンダードな
講習会が、続々
地元開催されている

2

学会出張旅費の補助

- 学会に参加する時は、交通費と宿泊費の補助が受けられます。

(過去実績：東京往復2泊3日×2回相当額)

3

更に充実したUpToDate使用環境

- UpToDateとは、ウェブ上で、最新の臨床医学情報を検索できるシステムです。
- 本町地区キャンパスの研修医を含む教職員、学生はUpToDateが使用できます。
- また、いわゆるたすきがけプログラムで他院で研修中もUpToDateが使用できるよう、研修医にはUpToDate使用料(2年分)が補助されますので、希望される方は申し込みをして、他院での研修中も大いに役立ててください。
- その場合、UpToDateの個人用IDを取得し、システムを使用します。もちろん本学附属病院以外で研修中も、パソコンがあれば利用可能です。

4

臨床研修に必要な図書を補助

- 当院で研修中の研修医一人あたり月2万円程度の図書を、各研修医の希望に応じて総合臨床研修センターが購入し、その研修医に貸与しています。

整備された

総合臨床研修センターと 研修医室が君を待っている

研修医室



総合臨床研修
センター



図書
セミナー室



仮眠室



研修医宿舎もスタンバイ!

快適な住環境で 安心して研修に専念できる



- ✓ 男性研修医用13室+女性研修医用6室、計19部屋
- ✓ ワンルーム・マンション形式
- ✓ 冷暖房完備の22平方メートルの居室（一部の女性研修医用は30平方メートル）
- ✓ バス、トイレ、キッチン付き
- ✓ 部屋に備え付けの物品
(ベッド、勉強机、椅子、洋服ダンス、食器戸棚、冷蔵庫等…詳細は総合臨床研修センターにお尋ねください。)
- ✓ 極めて軽い負担で借りられます。(月額3,000円程度、水道・光熱費別)



研修中の育児もサポート！



本学教職員の乳幼児を対象に、
ひろだい保育園
が開設されています。

もちろん研修医も利用できます！

保育日：年末年始を除く
毎日24時間

※定員に達した場合、ご利用いただけないこともあります。予めご了承ください。

詳しくは、弘前大学男女共同参画推進室ホームページ
<https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp>
をご覧ください。

女性医師支援施設の概要

▶ 概 要

女性医師の定着や職場復帰を支援し、県全体の医師確保を図るため、青森県の支援を受けて、2015年2月25日に専用施設が完成しました。女性医師のための休憩室や更衣室等を備え、勤務環境を充実すると共に、情報交換等の場として活用しています。

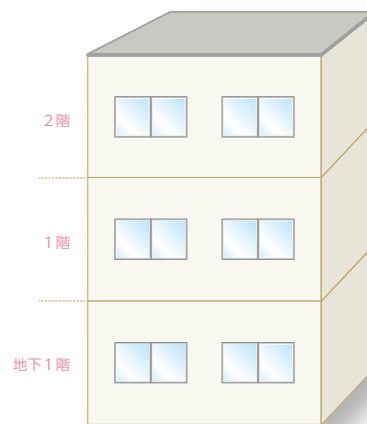
▶ 施 設

構 造：鉄筋コンクリート
地上2階地下1階
面積 249.77㎡

地下1階：セミナーや相談会、情報交換等を行うための多目的室

1階：ロッカー室、パウダールーム

2階：シャワー室を備えた休憩室



1階 パウダールーム



2階 和室



地下1階 多目的室



1階 ロッカー室

指導医も進化している！

定期的に行われる
指導医ワークショップで
指導医も研修指導の腕を磨いています。



研修医が行って良い医療行為の基準を明示

弘大では患者さんの安全を守り、研修医の先生も安心して研修に専念できるよう
「弘前大学医学部附属病院における研修医の医療行為に関する基準」
を定めています。

この中では、

「研修医が単独で行って良いもの」
「指導医の立ち会いが必要なもの」を明示。

でも何と言っても、
大切なものは

指導医との二人三脚。

これを見て、指導医と相談しながら前進しよう！

忙しくても
充実した
毎日

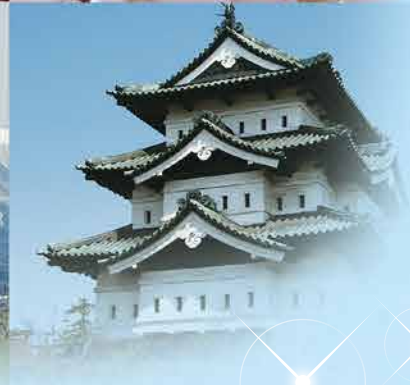
日々前進する研修医たちの姿

指導医からの
あたたかい
ご指導



そして
研修修了証を
手に！





〒036-8563 青森県弘前市本町53番地
弘前大学医学部附属病院総務課人事グループ臨床研修担当
電話：0172-39-5178
E-mail: jm5178@hirosaki-u.ac.jp

2023年6月発行